

## 弘蔵寺（天龍寺塔頭）

<http://kogenji.jp/>

毘沙門天立像や枯山水庭園「虎嘯の庭」、竹内栖鳳とその一門（上村松園・西山翠嶂・徳岡神泉ほか）など文化勲章受章画家の日本画等を公開しています。

弘源寺（こうげんじ）は臨済宗天龍寺派大本山天龍寺の塔頭寺院です。永享元年（1429）室町幕府の管領であった細川持之公が、天龍寺の開山である夢窓国師の法孫にあたる玉岫禅師を開山に迎え創建し、持之公の院号をもって弘源寺の寺号としました。細川家は清和源氏の流れをくみ、足利家より分かれた細川家9代が当寺の開基持之公にあたります。創建当時は小倉山の麓に位置し北は二尊院、南は亀山にいたる広大な寺領を有していましたが、幾度かの火災に遭遇し変遷を重ね、明治15年に末庵である維北軒と合寺しました。

## 本堂

本堂は客殿形式で寛永年代の造営です。正面中央には本尊観世音菩薩、右側に開山である玉岫禅師木像、左側に開基である細川右京太夫持之公の位牌を祀っています。柱に残る刀傷は、京都御所蛤御門の変（1864）に際し天龍寺に陣を構えた長州藩の軍勢が、血気に逸り試し切りなどをしたものです。

## 毘沙門堂

毘沙門堂の正面扁額は弘法大師の直筆で、天井には日本画家初代藤原孚石筆による四季草花48面の絵画が有ります。

## 本尊

当寺では、**聖観世音菩薩**を本尊としています。聖観世音菩薩とは、いわゆる観音様の事です。経典のひとつ「観世音菩薩普門品偈」には、観世音菩薩が、この世界を生きる全ての人々の苦しみの声を聞き、相手に応じて三十三の姿に変身して救う事が説かれています。そのため、聖観世音菩薩には、様々な仏様としての別名があります。当寺の本尊は、右手は垂下して施無畏印を結び、左手には蓮華を挿した華瓶(けびょう)を持つお姿をしています。